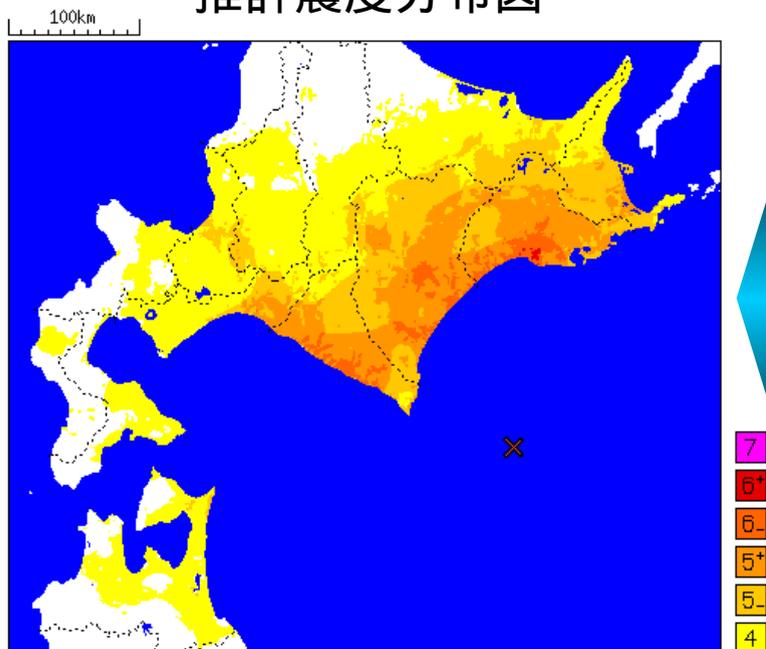
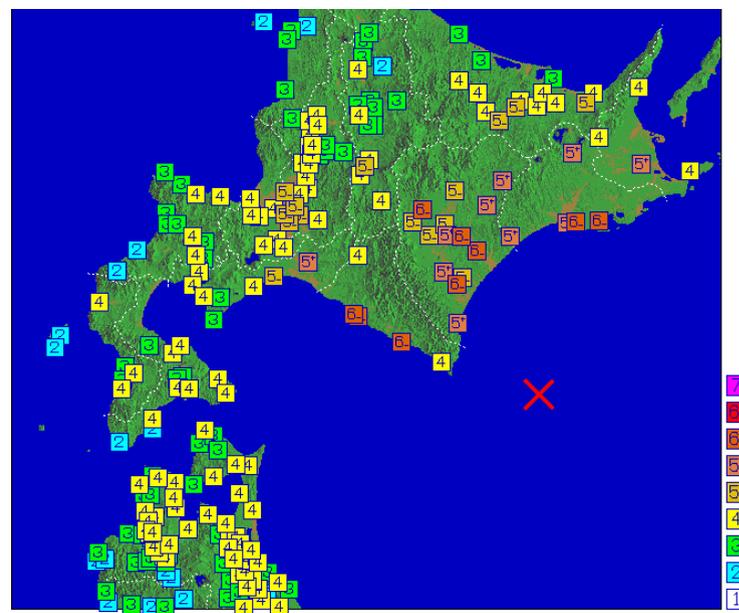


震度情報の精度（推計した震度と実際の震度との合致率）

推計震度分布図



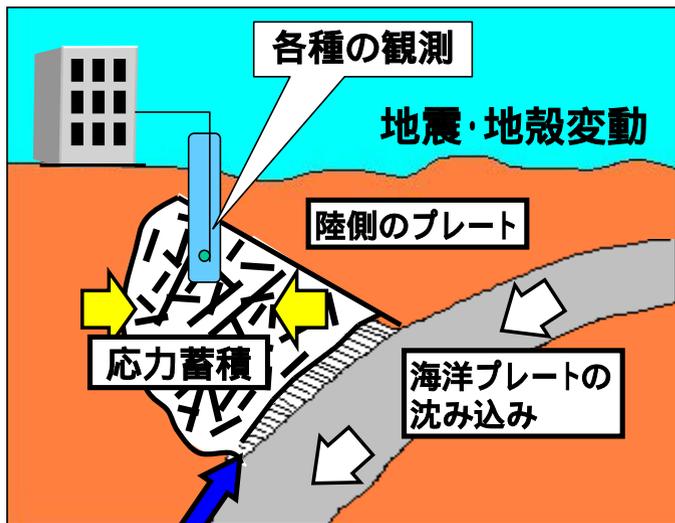
実際の震度



平成16年3月1日より公表開始(内閣府、気象庁)

想定東海地震の監視能力

- 東海地震の前兆検出の概念 -



東海地震発生

陸側のプレートと海洋プレートが固着し、固着域が形成される

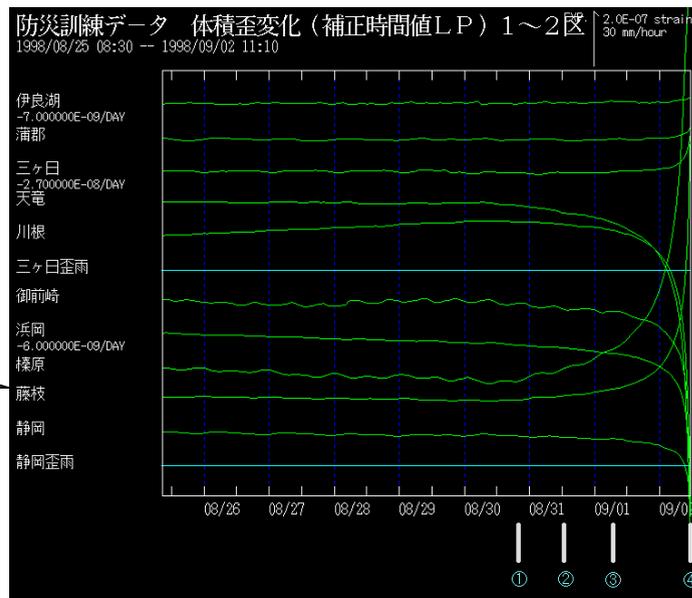
固着域が変質する

固着域がはがれる

前兆すべり

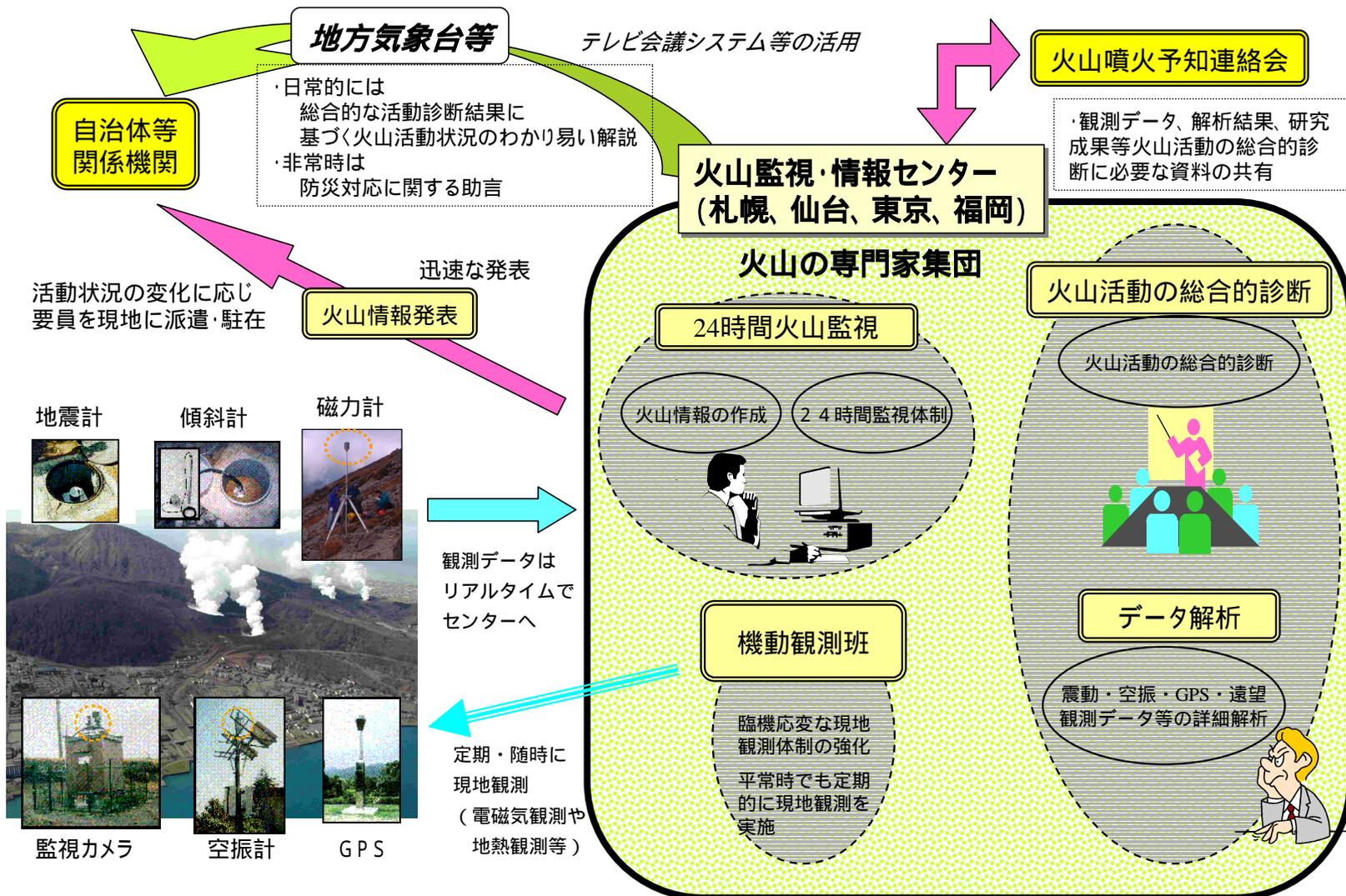
地震活動の変化等

歪計による前兆すべりの検出



前兆すべりのシミュレーション例

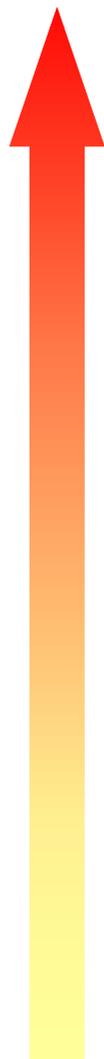
火山活動の監視能力

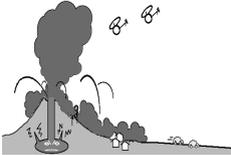
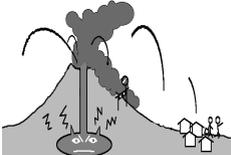
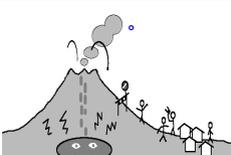
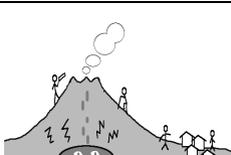
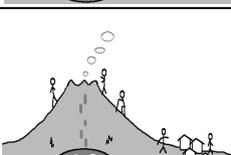
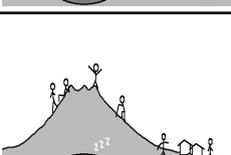


日本の活火山（火山活動の監視能力）



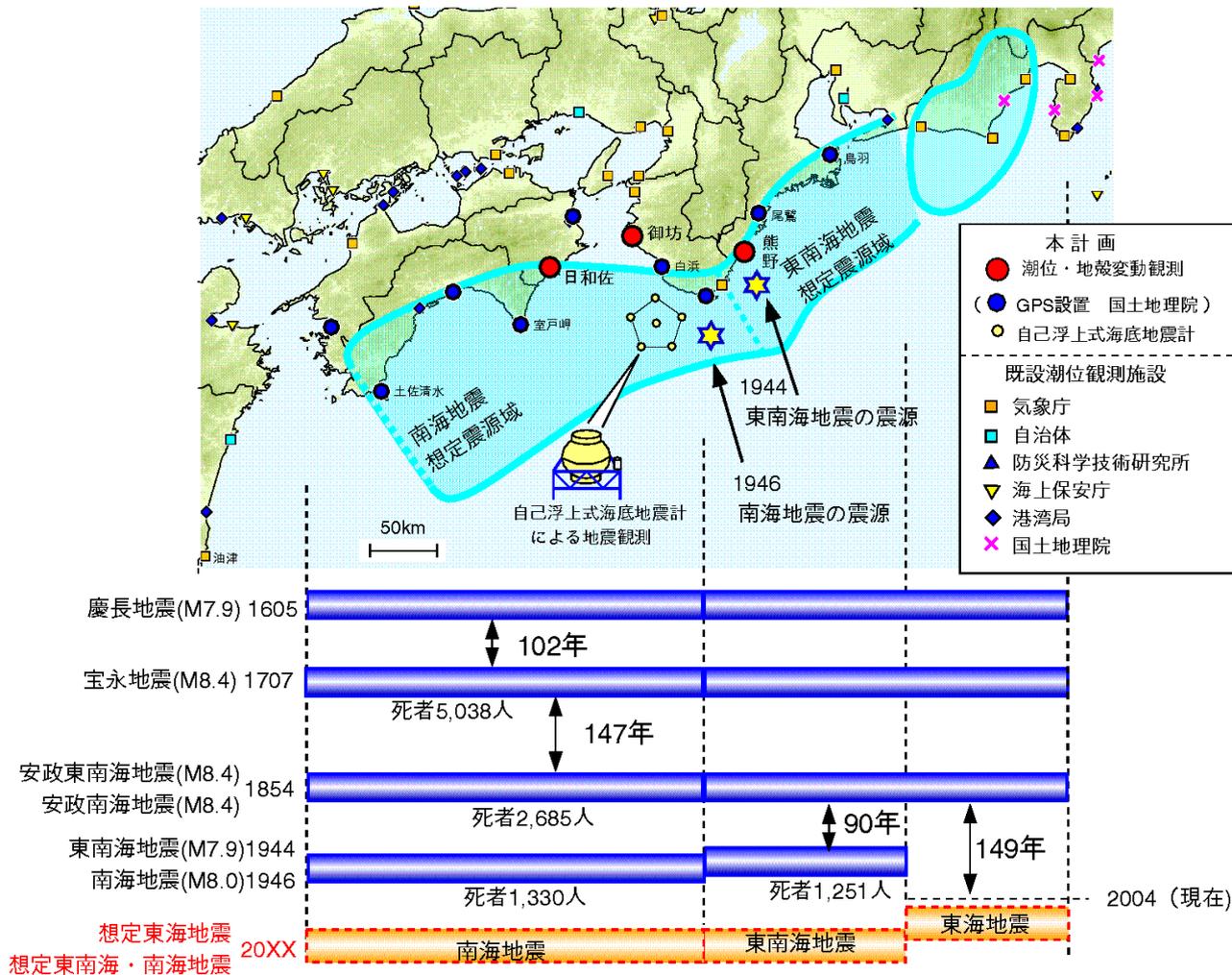
分かりやすい火山情報の提供（火山活動度レベルの導入）



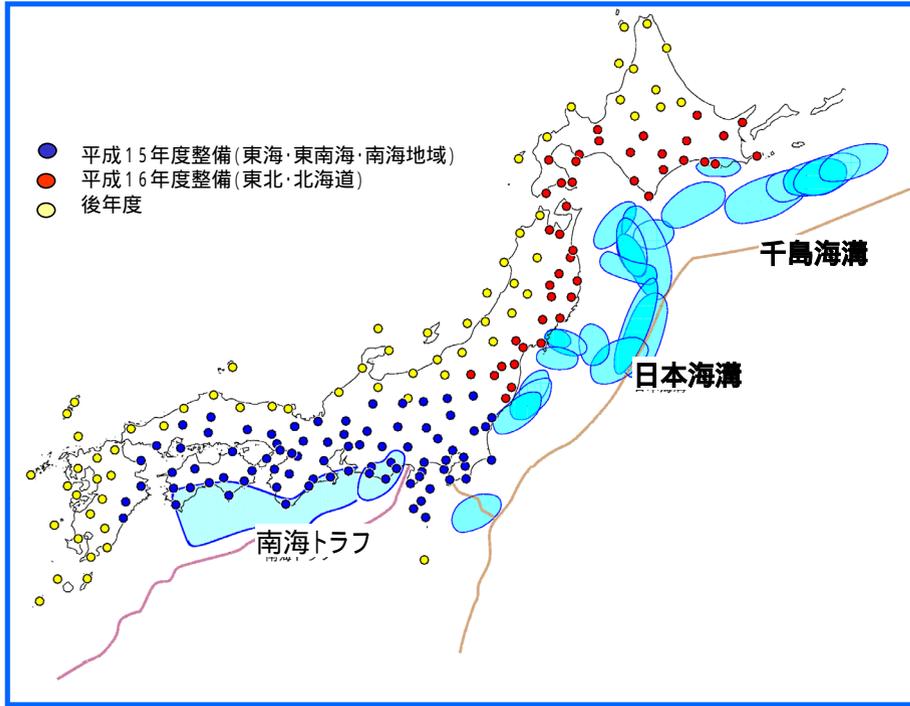
レベル	イメージ	対応する火山情報
レベル5 (極めて大規模な噴火)	 <p>広域で警戒が必要。</p>	緊急火山情報
レベル4 (中～大規模噴火)	 <p>居住地にも影響の可能性があり、警戒が必要。</p>	
レベル3 (小～中規模噴火)	 <p>火山周辺に影響があり、十分注意する必要</p>	臨時火山情報
レベル2 (火山活動に高まり)	 <p>火山活動の状況を見守っていく必要</p>	火山観測情報
レベル1 (静穏な火山活動)	 <p>噴火の兆候なし</p>	
レベル0 (長期間火山の活動の兆候なし)	 <p>噴気活動や火山性地震の発生がない</p>	

平成15年11月
より5火山に導入
(大島、浅間山、
雲仙岳、阿蘇山、
桜島)

自己浮上式海底地震計による観測



「緊急地震速報」の利用分野の拡大



利用分野の拡大

鉄道対策



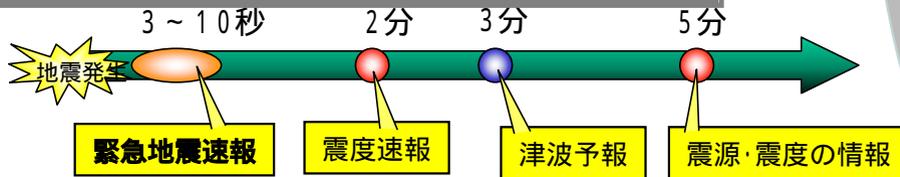
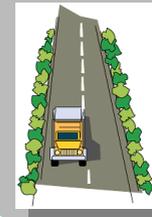
防災対策



津波対策



交通対策



「緊急地震速報」の提供
 (平成16年2月25日
 試験運用開始)



自動制御による
 減災措置



防災初動体制
 の確保



避難

ケーブル式海底地震計の整備とルート調査 (東海・東南海地震対策)

